

2016年12月22日

会員各位

SAM東京支部事務局

2017年1月度例会のご案内

拝啓 皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、東京支部2017年1月度例会のご案内を申し上げます。今回は、井原様のご紹介で渡辺興亜様にご登壇いただき、「北極海とその海水域変動」をテーマにお話しいただきます。

渡辺様は、第11次、第15次の南極地域観測に越冬隊員として参加、第29次・第35次では観測隊長兼越冬隊長を務められた、雪氷学者です。

今回の例会では、①北極海についてその海洋構造と他の海洋との関係、②北極海の海水域構造とその成り立ち、③最近の地球気候変動に伴う北極海海水域の変動、などについてお話しいただく予定です。

つきましては、ぜひ多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

敬具

記

■日 時：2017年1月27日（金） 12:00～13:40**■会 場：**（社）日本外国特派員協会（プレスクラブ）会議室

〒100-0006 千代田有楽町1-7-1 有楽町電気ビル北館 20階 TEL:03-3211-3161

※今回の会場は、プレスクラブでございます。お間違いの無いようお願いいたします。

■講 師：渡辺 興亜様（国立極地研究所名誉教授）

【略歴等】1939年生まれ。1967年北海道大学大学院理学研究科修士課程。名古屋大学理学部助手、1975年科学技術庁防災科学技術センター雪害実験研究所第一研究室長、1977年名古屋大学水圏科学研究所助教授、1985年国立極地研究所研究系雪氷学部門教授、1994年国立極地研究所北極圏環境研究センター長、2000年国立極地研究所所長、2004年国立極地研究所名誉教授、2005年総合研究大学院大学名誉教授、2006年 国立大学法人総合研究大学院大学監事（2006～）。南極観測歴：第11次、第15次の南極地域観測に越冬隊員として参加、第29次・第35次では観測隊長兼越冬隊長を務めた。また、ヒマラヤ、中国、北極等の氷河調査を多年にわたり実施。秩父宮記念学術賞（ヒマラヤ氷河研究）、日本雪氷学会学術賞、日本雪氷学会特別表彰等受賞、気象学会堀内賞。最近の著作：Watanabe, O, et al. Homogeneous climate variability across East Antarctica over the past three glacial cycle, Nature, Vol.422, 3 April, 2003, 509-512. Kawamura, K, Watanabe, O, et al. Northern hemisphere forcing of climate cycles in Antarctica over the past 360,000years, Nature, Vol.448, No.7156, 23 August 2007, 912-916. 内陸への道（第5章）、ニッポン南極観測隊、人間ドラマ50年（丸善）2006。南極大陸内陸を拓く（学士会会報）No. 868、2008-1等。

■テーマ：北極海とその海水域変動**■会 費：**3,000円（ビジターの方は5,000円）**■ご出欠：**2017年1月20日（金）までに同封ハガキでお知らせください。

※お申込後にキャンセルされる場合は、前々日（土日を除く）までにご一報ください。

■次 回：2月20日（月）に総会・年次大会を予定しております。

以上

【事務局】 〒158-8630 世田谷区等々力6-39-15

（学）産業能率大学 総務課内（福田）

TEL. 03-3704-9046/FAX. 03-3704-9430

※冬季休業について：12月28日（水）～1月5日（木）は休業とさせていただきます。電話やメール等にもお答えできません。この間、ご不便をおかけしますが、ご容赦のほどお願い申し上げます。